

【校長講話】 6月3日朝礼にて

今日は6月最初の朝礼です。遠い昔のようですが、5月30日に何をしたか覚えていますか？「梅雨入り」「なかま遠足」（多数）そうです。「なかま遠足」に行きましたね。31日の朝、登校した6年生が笑顔で「昨日のなかま遠足は行けなかったけど元気になりました」と言ってくれました。行けなかった子には申し訳ないけど、本当に楽しい遠足でした。一番良かったことは、なんととってもみんなが無事に帰ってこられたことです。楽しくいっぱいあそび、けがもなく帰ってこられたことがとても素晴らしいことです。秋竹の遠足は先生がほとんど指示を出しません。おとなは子どもを見守るだけです。それなのになぜ無事帰ることができたのでしょうか？たくさん手を挙げてくれましたね。「6年生がしっかり見ていてくれた」「みんなが6年生の言うことをちゃんと聞いた」「自分勝手な行動をしなかった」…… ありがとう。みんな正解です。「なかま遠足」は前からこのように続いてきました。だから今年の成功は今年の6年生のおかげです。また来年も続くのです。これが伝統です。本当によい遠足でした。この後壮行会があるので終わります。

<壮行会>

5月7日からでしたね。5・6年生全員と一部の4年生で練習を始めたのは。約1ヶ月の間、授業後に毎日各競技に分かれて練習をしました。陸上の練習は地味です。地道に続けないと記録は伸びません。それを耐えて記録を伸ばせたのが選手の君たちです。出場しない種目もあります。これは、東ブロックの大きな他校と競うにはタイムがあまりにかけ離れていてはつらい思いをするだろうという先生方の思いなのです。だから、舞台に上がった選手のみなさん！恥ずかしがることも遠慮することもありません。大きな学校の選手と肩を並べていいのです！胸を張ってください。一緒に練習してきて競技会に参加しない5・6年生と一部の4年生のために！そして1年から6年生の秋竹小学校の期待にこたえるために！

でも、重荷に感ずることはありません。一人一人が自分の記録を伸ばすことが一番大切なことです。胸を張ってがんばってきてください。それでは、選手の活躍を願って拍手を送りましょう。